

ニューズレター雪氷北信越

No.37 平成6年5月10日
(社)日本雪氷学会北信越支部発行

目次

第7回総会・研究発表会・製品発表検討会案内/理事幹事会・顧問評議員会報告/
学習会の案内/全国大会のお知らせ/講演会の案内/プログラム/訪中団/その他

第7回総会および研究発表会・製品発表検討会 5月27日(金)開催

※プログラムは3～4頁です。奮ってご参加下さい。なお、同封の
出欠票および委任状を5月23日までにご投函下さい。

報告

理事・幹事会/顧問・評議員会 報告

平成6年4月22日(金)長岡技術科学大学建設系会議室において、本年度第1回理事・幹事会が開催された。平成5年度の事業報告・会計報告が審議され承認された。また、梅村支部長の任期満了にともない、支部理事の互選により新支部長として早川理事、副支部長として高瀬理事・高見理事が選出された。このあと、平成6年度の事業計画案・予算案が審議され承認された。つぎに、中村支部賞選考委員会委員長から支部賞授賞候補者の選考結果についての報告があり、審議の結果、下記の通りの授賞が承認された。

大沼賞 大関義男氏：長年にわたる降積雪観測、ならびに雪崩災害資料の収集の功績

新潟県中山間地農業技術センター気象観測チーム

：長年にわたる降積雪観測の功績

雪氷功労賞 阿部勉氏：長年にわたる北信越地域の雪対策ならびに本支部の発展に貢献した功績

今年、金沢で開催される1994年度(社)日本雪氷学会全国大会の準備状況が高瀬実行委員長から報告された。梅村支部長・田村幹事から日中学術友好交流団の派遣の提案があり承認された。このあと引続き、顧問・評議員会が開催され、支部長から平成5年度事業報告・会計報告、平成6年度事業計画案・予算案の報告がなされた。

学習会

富山地区学習会のお知らせ

話題
講師
日時
場所
内容

「あられ、雪粒付き結晶など固体降水について」

北海道大学 播磨屋敏生 教授

6月2日(木)18:00～20:00

富山大学理学部2号館(3階)3番教室

6月1～3日富山大学大学院大気物理学の集中講義に来られるのを機会に学習会ではあられ、雪粒付き結晶など固体降水の雪物理学、降雪現象についてお話しされます。集中講義の聴講も歓迎いたします。

問い合わせ先 対馬勝年(富山大学理学部)

TEL.0764-41-1271(内線 2522) FAX.0764-41-2972

全国大会

1994年度日本雪氷学会全国大会のお知らせ

前号でもお知らせしましたように、本年度日本雪氷学会全国大会は、9月26日(月)～30日(金)の日程で、金沢大学工学部に開催されます。例年の大会と比較しますと、3週間程度日程が早まっていますのでご注意ください。このため、研究発表申し込み、予稿集原稿の提出締切日も大会プログラムを「雪氷」9月号に掲載する関係上、7月31日(日)に予定しておりますので、予めご了承下さい。

また、総会後に開催されるシンポジウム(講演会)については、以下のテーマおよび講師で開催されます。

期日：9月27日(火) 13:30～17:00

テーマ：「雪の科学と文化」

講師：1)東晃会長、石川県土木部長(挨拶)	10分
2)東晃会長 (中谷宇吉郎先生の思い出なども含む)	40分
3)樋口敬二先生(雪の科学)	40分
4)中藤康俊先生(雪の文化)	40分
5)齋庭真先生(雪と雷)	40分
6)高瀬信忠先生(総括)	40分

なお、懇親会、見学会をはじめとした会費等につきましては、諸般の情勢を考慮しますと、500円程度値上げせざるを得ないと思われますので、この点につきましてもご了承下さい。

詳細は「雪氷」6月号にてご案内します。

1994年度日本雪氷学会全国大会
実行委員会委員長 高瀬信忠

講演会

講演会開催のご案内
福井雪害対策研究会講演会

期日：平成6年6月23日(木) 14:00～17:00

場所：福井大学福応会館 福井市文京3丁目9-1 TEL.0776-23-0500

主催：福井雪害対策研究会

後援：(社)日本雪氷学会北信越支部

- 内容：1.福井の積雪の特徴 福井大学 伊藤文雄
2.雪国の生活環境に関する調査 福井工業大学 前田博司
3.歩道上の雪と歩行者空間の確保について 福井県雪対策技術センター 杉森正義
4.森林内積雪の融雪速度 福井県総合グリーンセンター 松田正宏

今年の冬の観測を主にした話題が出る予定です。

連絡先 〒910 福井市春日3丁目303
福井県雪対策技術センター 杉森正義
TEL 0776-35-2412

平成6年度（社）日本雪氷学会北信越支部
総会、研究発表会・製品発表検討会

日時：平成6年5月27日（金）
場所：長岡技術科学大学A講義室

プログラム

発表は講演12分、
質疑応答は3分です

- ・研究発表会Ⅰ（9:30～10:45）
座長 阿部 勉（関越ロード・メンテナンス（株））
- 1. 雪氷・水二相流の管摩擦損失特性
○河田剛毅（長岡高専）、高橋進一、白樫正高（長岡技科大）
- 2. 管内輸送における雪投入装置の試作
山口肇、佐藤和秀、岩田実、○真島洋（長岡高専）
- 3. 長岡市街地における流雪溝網敷設の可能性と問題点
○早川典生、山本浩（長岡技科大）、橋本典和（岐阜県）
- 4. 路面凍結防止に関する基礎的研究
○小林俊一（新潟大・災害研）、吉田順雄（東北電力（株））
- 5. 長岡市の既存除排雪システムの費用便益計算
○諸橋和行、梅村晃由（長岡技科大）
- ・休憩（10:45～11:00）
- ・製品発表検討会（11:00～12:00）
座長 田村盛彰（小千谷高校）
- 19. 中型雪押込機の開発
梅村晃由、○澤本勝範（長岡技科大）、三本正人、村山健一（長岡工業
高校）、花田義晴（（株）新潟鉄工所）
- 20. ソーラー道路融雪システムの試作と評価
高頭洋晴（ソーラーシステム（株））、江頭泰雄、○藤田賢寿、梅村晃由
（長岡技科大）
- 21. 雪玉製造機とその活用方法
○小林俊市、中村勉（長岡雪氷研）
- 22. 凍結抑制等舗装の試験施工について
深川俊一、小林五太夫、小寺智照、○杉森正義（福井県建設・雪対策技術センター）
- ・昼食（12:00～13:00）
- ・定期総会（13:00～13:45）
- ・平成6年度支部賞授賞式（13:45～14:00）

・ 研究発表会Ⅱ(14:00～15:45)

座長 高見晋一(北陸農業試験場)

6. 富山における平成5年度冬期の酸性雪調査
○木戸瑞佳、対馬勝年(とやまの雪研究会)
7. 中国黒龍江省で測定された積雪のpHとEC
○対馬勝年(富山大・理)、和泉薫(新潟大・災害研)、石井吉之(北大・低温研)
8. 融雪水中の溶存成分濃度の実験研究
佐藤和秀(長岡高専)、○斎藤健一(長岡技科大)、山崎健(福井大)
9. 森林と裸地における積雪・融雪過程の比較
○小南裕志、遠藤八十一、庭野昭二(森林総研・十日町)
10. 黒部川流域における総合的融雪流出解析手法の適用
○石平博、小池俊雄、陸晏皎(長岡技科大)
11. 新潟県における雪面熱収支特性に関する比較研究
○小池正子、小池俊雄(長岡技科大)、下垣久(電力中央研究所)
12. 積雪塊の融解速度について
伊藤文雄(福井大・教育)

・ 休憩(15:45～16:00)

・ 研究発表会Ⅲ(16:00～17:30)

座長 中村秀臣(長岡雪氷防災実験研究所)

13. 斜面積雪の移動に関する実験的研究
○大橋隆行、川田邦夫(富山大・理)
14. 降雪検知器及び溢水式雨雪量計による時間降雪量の精度
○遠藤八十一、小南裕志、庭野昭二(森林総研・十日町)
15. 雪結晶に付着した雪粒と結晶内の空洞
○小西慶子((株)自然環境科学研究所)、木島美恵子((株)工学気象研究所)
対馬勝年(富山大・理)
16. 積雪の圧縮による透明氷の作成
○久保雅彦、対馬勝年(富山大・理)
17. 貯水槽使用の融雪システムの研究
○杉森正義、深川俊一(福井県雪対策技術センター)
18. 積雪もどき・降雪もどき
○納口恭明(長岡雪氷研)、和泉薫(新潟大・災害研)

・ 懇親会(17:30～19:00)

※19:37に技大前発長岡駅行き最終バスがあります。(長岡駅 20:05着)

去る4月22日に開催された平成6年度第1回理事・幹事合同会議において上記の訪中団の派遣が了承されましたので、参加希望者を募ります。

本支部の大沼匡之顧問が中国科学院から招きを受けてから、はや10年余りが経ちました。以来、雪氷関係の人の往来が盛んになり今日に至ったことは大変悦ばしいことであります。しかし、人の流れをみると、中国からの来訪が多いのに対し、日本からは比較的少ないのが現状です。そこで、広く中国の雪氷研究の現状を認識することと、日本の雪氷研究を紹介しながら、あらためて広汎な交流をはかることを目的として訪中団の派遣を企画いたしました。下記の要領で実施したいと思っておりますので、ふるってご参加下さい。

旅行計画案

1. 目的地：中国科学院蘭州氷河凍土研究所、同天山観測所
2. 旅行期間：1994年8月19日（金）～8月28日（日）
※中国国内の航空事情により、前後1日程度移動する可能性があります。
3. 派遣人員：8名以内（中国国内の輸送の機動力を考慮しました。）
4. 日程の概要：詳細は中国科学院と協議して決めますが、田村私案を下記に示します。
8/19（金）成田14:55---CA926---18:15北京（泊）
20（土）北京10:05---CJ6901---14:25ウルムチ（泊）
21（日）ウルムチ---天山観測所（泊）
22（月）天山観測所-----天山氷河---ウルムチ（泊）
23（火）ウルムチ周辺の見学（泊）
24（水）ウルムチ11:20---WH2908---13:40蘭州（泊）
25（木）学術講演会、研究所見学 蘭州（泊）
26（金）蘭州とその近郊を見学 蘭州（泊）
27（土）蘭州13:15---WH2155---15:25北京（泊）
28（日）北京9:00---CA925---13:50成田
5. 費用（概算）：20～25万円
6. 講演会：蘭州氷河凍土研究所で参加者による学術講演会を催します。
7. 留意点：ウルムチ---乾燥地帯、標高900m、天山第一氷河---標高3800m、気温0℃
蘭州---乾燥地帯、標高1500m、夜涼しい、トルファン---日中の気温40℃超
8. 申し込み・問い合わせ
長岡技術科学大学機械系 梅村晃由 TEL:0258-46-6000
小千谷高校 田村盛彰 TEL:0258-83-2262、FAX:82-0646、自宅TEL:0258-33-3820
9. 申し込み期限：5月20日（金）

発起人・幹事 梅村晃由、田村盛彰

話題

『中谷宇吉郎 雪の科学館 開設準備室』発足す

1993年8月に着工した「中谷宇吉郎 雪の科学館」は、予定通り本年11月1日（竣工式予定は10月31日）に開館する運びとなった。そして、このほど開設準備を推進するため、下記の開設準備室が加賀市役所内に発足した。

記

『中谷宇吉郎 雪の科学館 開設準備室』

1. 構成員

室長	東出 孝信
主幹	神田 健三
学芸員	見神 千絵

2. 住所・電話番号

〒922 石川県加賀市大聖寺南町二41番地
 TEL 07617-2-1111（代）
 内線：東出 477，神田・見神 478
 FAX 07617-3-4824

（小林幹事 記）

話題

御存知ですか？ 四国でも「つららまつり」！

雪国で「雪祭り」や「氷祭り」は珍しくないが、四国剣山のふもとにある徳島県那賀郡木沢村では、6年前から毎年8月中旬に「納涼つららまつり」を実施している。これには、厳寒期の1月～2月にかけて標高1300m付近で川から引いた水を少しずつ凍らせて直径80～90cm、長さ約2mの巨大なつららを造り、それに雪を加えた約10tを半年間冷凍庫に保存して用いるという。まつりでは、輪切りにしたつららの上に何分間座っていられるかを競う「つらら座布団がまん大会」や「雪合戦」などが行われる。

（小林幹事 記）

その他

『ニューズレター雪氷北信越』について

ニューズレターに関するお問い合わせは
 長岡雪氷防災実験研究所 小林俊市

TEL. 0258-35-7522
 FAX. 0258-35-0020

までお願いします。